



# 高輪だより

令和元年度1月号  
港区立高輪幼稚園  
園長 柿沼 敦子

## 2020年の幕開け

高輪幼稚園長 柿沼 敦子

明けましておめでとうございます。2020年がついに明けました。高輪ゲートウェイ駅は3月に開業予定であり、7月24日から始まるオリンピック、続くパラリンピックに大きな期待と希望が膨らむ新年です。お正月は天気も最高で、幸先の良いスタートとなりました。

さて、新春恒例の箱根駅伝をご覧になったでしょうか。高輪はコースである第一京浜も近くにあり、実際に選手を応援に行かれた方もいらっしゃることでしょう。今年、青山学院大学は、2年ぶり5回目の総合優勝を果たしました。昨年東海大学に優勝を奪われ連勝はストップし、無念の涙を流しました。元早稲田大学OB、住友電工陸上競技部監督の渡辺康幸さんは、解説の中で「負けを知っての今年の優勝は今までと違う感動があるでしょう。泥臭い練習を積み上げてきましたからね。走った距離は嘘をつかない。毎日、仲間と厳しい練習を積み上げてきましたからね」とおっしゃっていました。昨年までは当然だった優勝を覆えさせられ、部員一同仕切り直して諦めずに挑戦したのでしょう。優勝できた喜びを存分に仲間と分かち合えたことでしょう。

昨年暮れに保護者の皆さんにご協力頂いたアンケートでは、起床と就寝時刻の項目がありました。ほとんどの子どもたちが早寝（21時以前）、早起き（7時前後）ができていました。朝ごはんもきちんと食べています。どのご家庭でもしつかりなさってくださいに改めて高輪幼稚園の保護者の皆様の意識の高さに驚きました。それこそ良い生活習慣は嘘をつかない。その習慣は、子どもの心と体、学力などにやがて大きな利益をもたらしてくれることでしょう。

お正月遊びでは、お子さんは「勝ったり負けたり」の経験ができたでしょうか。一人ひとり負けた悔しさを様々な形で表したことでしょう。同時に受け止めてくれる家族の優しさも感じたことでしょう。様々な感情を経験することで心が豊かになります。それは、やがていつか誰かと悔しい気持ちや喜びを「分かち合う」ことに繋がります。

2020東京オリンピック・パラリンピックに向かって今現在も厳しい練習に励んでいる選手、それを支えている方々がいらっしゃいます。栄光を守る方々、栄光に挑む方々様々でしょう。なかなか経験できない近くで感じるオリンピック・パラリンピックに大いに期待し、応援し、喜びを分かち合う年にして参りましょう。

開業待ち遠しい高輪ゲートウェイ駅



オリンピックまでカウントダウン  
令和2年1月8日現在



ネズミ年だけどぼく（うさぎ）も  
がんばります！

